



2021年4月27日 キリスト教センター通信 リレーメッセージ 第34号

「時間もあるし」

キリスト教センター長 藤倉哲哉

あなたは今の自分に満足していますか？

長らく楽しいとか満足と素直に感じる事ができない状況なので、春だ、新入学だといわれても（ビミョ〜）と感じるのは仕方ないかも知れません。希望をもって、少しでも楽しく、いまだからできることを…といいますが、いつまで我慢すればいいか不安になることもありますね。

人間にはどうにもならない（＝選択できない）ことがあって、そのひとつは「生まれてくること」でしょう。デジタル時代に生まれてよかった、安全な日本に生まれてよかった…確かにその通りですが、私たちは生まれてくる時代も、国も、親も、性別も選べないことを忘れがちです。そして進んだ時代、豊かな国…など自らの成果ではないことを当然のようにして、異なる人びとを蔑んだり努力が足りないと言ったりします（逆の立場からの反論もありますが…）。

差別や格差、抑圧や虐待など困難な課題はすぐには解決できません。では、どうすればいいのでしょうか。まずは、経済も政治も文化も歴史も勉強して、広く知って深く考えることです。すると知的な活動範囲は世界に広がり、学びは大きな力を持つようになるはずです。

神戸国際大学で思いきり学生生活を楽しんで下さい。

* * * * *

忘れられない1冊 世界のベストセラー 新書から

「自由への大いなる歩み」マーチン・ルーサー・キング著 雪山慶正訳 岩波新書

あるいは ☞ “#MLK” でも

- 新型コロナウイルスの被害を覚えるお祈り -

※ みなさんもお時間のあるときにお祈り下さい

神戸国際大学の学生のための祈り

いつくしみ深い神よ、新型コロナウイルスの感染拡大により、困難な日々、孤独な状況、不安の中にあるすべての神戸国際大学の学生のみなさんのために祈ります。どうか、彼ら彼女ら一人ひとりの心を支え、お守りください。そして私たちに、あなたの知恵と力が与えられ、今できることを考え、神さまの、み心にかなった正しい行動を心がけることができますように。そして、共に心を合わせて、新型コロナウイルスの一日も早い終息を祈り、求め続けることができますようにお導きください。このお祈りを、主イエスさまの、み名によっておささげいたします。アーメン

病に苦しむ人のための祈り

慈悲の父、慰めのもとである神よ、現在、新型コロナウイルスに感染し、痛みや苦しみ、不安や悲しみの中にある人のために献げる祈りをお聞きください。どうか病で困難や不安の中にある人を憐れみ、み恵みによってその体と心を強め、病を癒やしてください。また、医師と看護する者とを助け導き、その働きを支えてください。そして、何もできずに不安と悲しみの中で苦しむご家族やご友人、また、私たちの心も神さま、あなたが愛によってお救いください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

離れている大切な人を覚える祈り

愛なる神さま、あなたは、み手を伸べていつも私たちをお守りくださいます。どうか、遠く離なれて暮らす家族や友人を様々な困難な状況からお守りください。そしてこの不安定な世界において、必要な糧が与えられますように。心と体が守られ、健やかに日々を過ごすことができますように、どうかあなたがお支さえください。また、不安の中で医療に従事する人々のために祈ります。どうか一人ひとりの働きが祝福され、感染者の回復を助け、支える力をお与えください。そして彼らが感染から守られ、新型コロナウイルスの終息に向かうことができますように。この小さなお祈りをイエスさまによってお願いいたします。アーメン